

## 「挑戦する米子市」に むけて

米子市長  
伊木 隆司

明けましておめでとうございます。  
います。

皆さまが、健やかに新年を迎えられますことを心よりお喜び申し上げます。

さて、本年はいよいよ平成の御代が終わり、新しい時代を迎えることとなります。皆さまにとりまして、平成とい

## 皆さまの声を市政に

米子市議会議長  
渡辺 穰爾

明けましておめでとうございます。  
います。

市民の皆さまには、健やかに平成31年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、本市では、現在、持続可能な財政運営を図りながら、市民の皆さまがいきいき

う時代はどんな時代でしたでしょうか。バブルの崩壊や阪神淡路大震災、リーマンショック、東日本大震災など大変な出来事が強く印象に残りますが、野茂投手やイチロー選手が海を渡ってメジャーリーグで活躍したり、ノーベル賞の受賞者が続出するなど、日本人が世界を舞台に目覚ましい活躍を遂げた時代でもありました。

昨年、米子市を振り返りますと、大山開山1300年祭の開催、サッカーワールド

カップロシア大会で昌子源選手（米子北高卒）のご活躍、米子市消防団夜見分団の全国消防操法大会ポンプ車の部の準優勝など、明るい話題がありました。

また、工業団地の整備促進、米子駅南北自由通路等整備事業の着実な進捗、中心市街地の再活性化等に取り組んだほか、子育て支援として、5歳児健診の実施と「子ども総合相談窓口」の開設、介護予防の推進として、健康寿命の延伸に向けた取組などを展開し

## 新年

## のごあい

## さつ

と暮らせるような、住んで楽しいまちづくりに向けて、子育て支援、高齢者福祉の充実、教育環境の整備、産業観光の振興、防災・減災対策などの諸施策について積極的に取り組んでいくところでございます。

しかしながら、地方においては大都市圏に先行して人口減少および少子高齢化が加速しており、今後、本市においても厳しい社会経済環境が続くことが見込まれております。

さらに、今年は幼児教育・保育の無償化、消費税増税が予定されており、地方自治体の財政や地方経済へ多大な影響を与えることが懸念されることから、こうした大きな変化に迅速かつ柔軟に対応していく必要があります。

そうした中、昨年6月の市議会議員一般選挙を経て、市民の皆さまから負託を受けた総勢26名からなる市議会の新体制のもと、これまで以上に多様な意見に真摯に耳を傾

てまいりました。特に市の魅力をPRするために実施した皆生温泉の街並みと米子城跡のライトアップは、観光客のみならず、多くの市民の皆さまにも喜んでいただけたのではないかと考えております。

新しい時代を迎えるにあたり、今年の市政のテーマに「挑戦する米子市」を掲げました。いつの時代であっても、新たな挑戦をする者に時代の扉は開かれています。これからの時代に米子市が燦然と輝ける地方都市として発展をしてい

け、皆さまの声を市政に適切に反映させることが私たち市議会としての責務でありますので、市政発展に全力で取り組んでいくとの決意を新たにし、市の推進する諸施策が、限られた財源で最大限の効果が発揮できるよう、執行機関と議論を重ねてまいりる所存でございます。

また、昨年、本市議会の予算決算委員会の総括質問のインターネット中継を開始するとともに、委員会会議録および

くために、私たちは挑戦を続けていきたいと思っております。そして、そうした過程の中に、人生の充実感や生きる喜びを感じられる「住んで楽しいまち」が実現するよう、ひたむきに駆け抜ける一年にしたいと思っております。今後とも市政へのご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、この一年が市民の皆さまにとって、ご健勝でご多幸な年となりますよう心よりお祈り申し上げます。年頭のごあいさついたします。

び委員会視察報告書をホームページに掲載することとしました。今後とも「開かれた議会」をめざし、さらなる議会改革を進めてまいりたいと思っておりますので、ご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、この新しい年が、市民の皆さまにとりまして幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 2018年 市政主要ニュース

注：ニュースは平成30年11月26日時点で選定したものです。

## 5歳児健診の実施及び子ども総合相談窓口の開設

発達に課題のある児童の早期発見・早期支援および円滑な就学を目的とする5歳児全員を対象とした「5歳児健診」を実施。また、子どもに関するいろいろな相談に応じ、妊娠期から学齢期までの切れ目ない支援を行なう拠点となる「子ども総合相談窓口」を開設しました。



## 通りの通称を命名

自分たちが暮らしている街に愛着を持つとともに、分かりやすいまちづくりを推進していくため、通りに通称を設定する取り組みを始め、1月に「医大通り」、6月に「内堀通り」と「外堀通り」を命名しました。



## 無償譲渡された高島屋東館を民間事業者に再譲渡

米子市は、株式会社米子高島屋から無償譲渡を受けた米子高島屋東館と米子高島屋第一駐車場棟（敷地を含む。）について、角盤町エリアのにぎわいの創出と再活性化のために活用していただく再譲渡先の民間事業者を決定し、再譲渡を完了しました。

## 米子市児童文化センターに電子顕微鏡コーナー設置



3月に電子顕微鏡の開発・研究に貢献した米子市ゆかりの研究者2人（故菅田栄治氏と田中敬一氏）を顕彰する「電子顕微鏡のまち・米子市」推進協力会から最新型電子顕微鏡などの寄贈を受け、児童文化センターに電子顕微鏡コーナーが設置されました。これにより、子どもも大人も身近にミクロの世界を見られるようになりました。

## 小中学校普通教室への空調設備整備方針を決定

近年の地球温暖化等による猛暑の影響から、児童生徒の学習環境は以前と比べて厳しいものとなっており、米子市としても、教育環境の改善を図るため、全ての小中学校の普通教室に空調設備を設置することを決定しました。

## 米子市公会堂開館60周年



昭和33年の開館以来、「文化の殿堂」として長く市民に愛されてきた公会堂が2度の大改修を経て4月に60周年を迎えました。近代日本を代表する建築家 村野 藤吾の意匠と実用性との調和が公会堂の魅力であり、数々の建築賞も受賞しています。

## 米子城跡で豎堀発見

米子城跡の発掘調査で、本丸番所跡から二の丸枳形へと北東方向に延びる豎堀を新たに確認し、4月に公開しました。豎堀は、平成28年度に本丸北西側で確認した「登り石垣」と対になるもので、中海側からの攻撃に備え、御殿のあった二の丸を防御していたと考えられます。



## 『伯耆国『大山開山1300年祭』・

## 『第3回『山の日』記念全国大会 in 鳥取』関連行事の開催

8月9日、秋篠宮家の長女 眞子内親王殿下をお迎えし、米子市公会堂で「伯耆国『大山開山1300年祭』記念式典が盛大に開催されたほか、8月10日から11日に米子市および大山町で開催された「第3回『山の日』記念全国大会 in 鳥取」では、さまざまな関連イベントを通して城山（米子城跡）や城下町、加茂川、中海などの米子市の魅力が全国へ発信されました。

## 『地ビールフェスタ in 米子』スタート



角盤町エリア活性化の取り組みのひとつとして、角盤町商店街振興組合が、毎月プレミアムフライデーに定期開催する「地ビールフェスタ in 米子」をスタートさせました。角盤町エリア活性化に向けて、米子市も企画段階から積極的に協力し、官民が一体となって取り組みました。

## 全国消防操法大会ポンプ車の部で準優勝

10月19日に富山市で開かれた全国消防操法大会ポンプ車の部に初出場した米子市消防団夜見分団が準優勝に輝き、市消防団として初の快挙を達成しました。また、指揮者の西田軍治さんが優秀選手に選ばれました。

